

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立浜松南高等学校

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	17
学校施設の概要	18
在籍生徒調	20
入学志願者及び入学者数調	21
卒業生の動向調	22
生徒の状況	23
授業料収納状況調	24
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	26
預金調	27
郵券等受払調	27
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	28
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	29
委託料に関する調	30
負担金支出調	32
建築工事調	33
公有財産調	37
借地借家等調	38
行政財産貸付・使用許可調	39
職員公舎管理状況調	40
主要備品調	41
職員調	42
職員の年齢調	45
健康管理	46

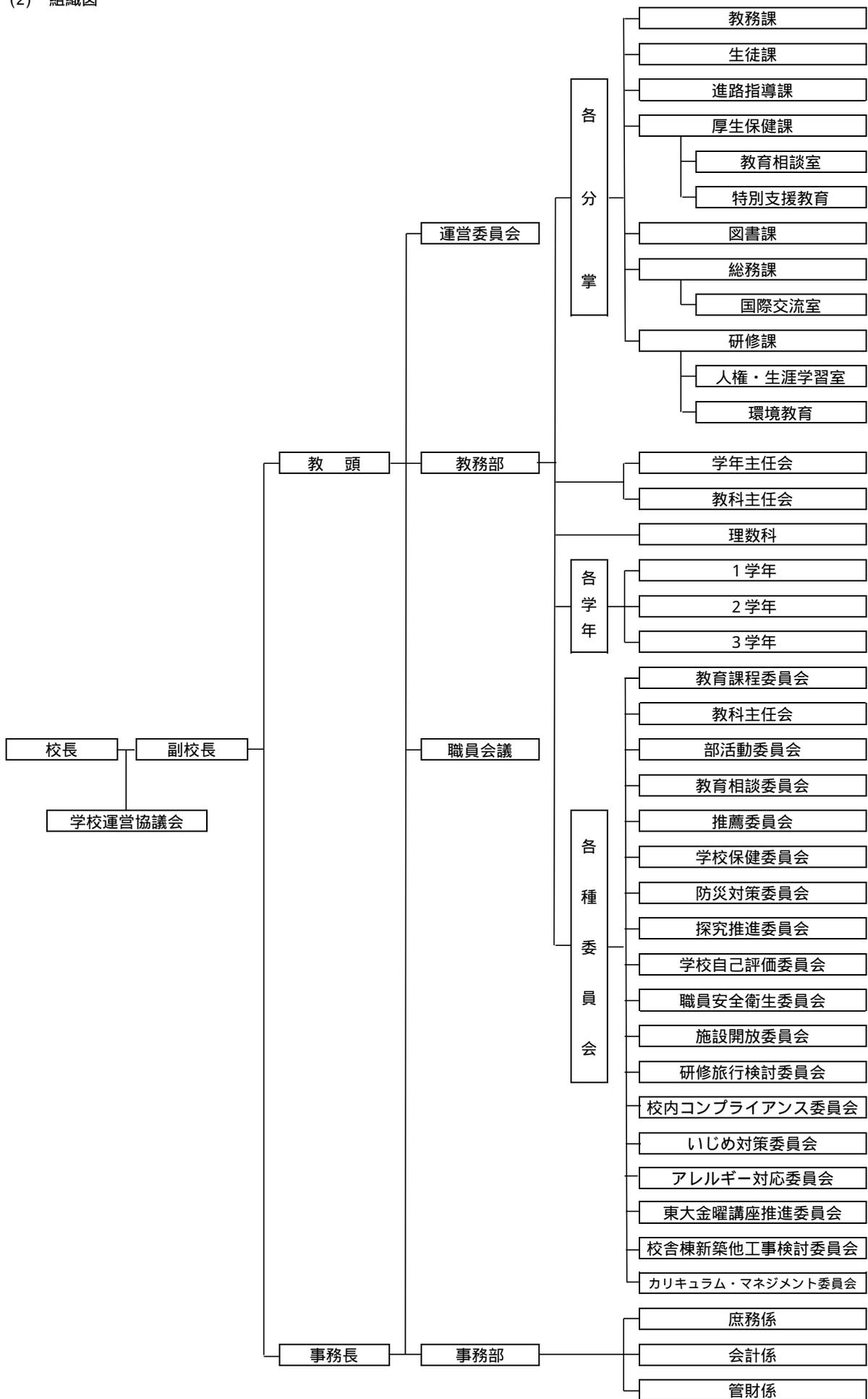
事 務 事 業 の 概 要

1 概 況

(1) 学校の沿革

昭和	37. 3. 19	静岡県議会において昭和38年 4月 1日から静岡県立浜松南高等学校を設置すること並びに第一期工事予算案が議決される。
	38. 4. 1	全日制課程普通科及び商業科を設置 入学定員普通科 250人(5学級) 商業科 200人(4学級)
	38. 4. 8	第1回入学式挙行 普通科 273人 商業科216人
	38. 5. 7	第一期工事完成(4,449㎡)
	39. 4. 1	第二期工事完成(3,519㎡)
	39. 4. 1	静岡県立静岡城北高等学校通信制の課程協力校となる。
	39. 8. 31	グラウンド造成整備工事完成
	40.12.15	体育館兼講堂建築工事完成(1,380㎡)
	43. 4. 1	入学定員普通科 240人(5学級) 商業科 192人(4学級) となる。
	44. 1. 31	格技場建築工事完成(810㎡)
	44. 4. 1	入学定員普通科 235人(5学級) 商業科 188人(4学級) となる。
	45. 4. 1	入学定員普通科 230人(5学級) 商業科 184人(4学級) となる。
	46. 4. 1	入学定員普通科 180人(4学級) 商業科 180人(4学級) となる。
	46. 9. 15	プール建設工事完成(50m)
	49. 4. 1	入学定員普通科 225人(5学級) 商業科 180人(4学級) となる。
	53. 3. 7	校舎増築(新館)工事完成(321.72 ㎡)
	54. 8. 31	運動場整備(整地)工事完成(15,192㎡)
	57. 4. 1	入学定員普通科 225人(5学級) 商業科 135人(3学級) となる。
	58. 4. 1	入学定員普通科 225人(5学級) 商業科 180人(4学級) となる。
	60.12.14	生活館(波濤館)建築工事完成(1,035.24㎡)
	61.10.23	北校舎耐震補強工事完成
	62. 3. 20	西館増築工事完成(262.32㎡)
	62. 4. 1	入学定員普通科 270人(6学級) 商業科 160人(4学級) となる。
平成	1. 7. 31	第二体育館建築工事完成(671.01㎡)
	2. 4. 1	商業科募集停止
	2. 4. 1	入学定員普通科 450人(10学級) となる。
	5. 4. 1	入学定員普通科 430人(10学級) となる。
	5. 4. 1	静岡県立静岡中央高等学校通信制の課程協力校となる。
	6. 4. 1	入学定員普通科 420人(10学級) となる。
	7. 4. 1	入学定員普通科 410人(10学級) となる。
	7. 9. 8	校舎大規模改修工事完成
	8. 4. 1	入学定員普通科 400人(10学級) となる。
	12. 2. 28	運動場整備(整地)工事完成 (14,600㎡)
	14. 3. 25	生徒昇降口改修(障害者用スロープ)工事完成
	15. 4. 1	理数科を設置
	15. 4. 1	入学定員普通科 360人(9学級) 理数科 40人(1学級) となる。
	16. 3. 19	第二体育館改修(天井落下防止)工事完成
	16.11.26	部室耐震補強建築工事完成
	18. 1. 16	体育館兼講堂耐震補強建築工事完成
	18. 4. 1	入学定員普通科 320人(8学級) 理数科 40人(1学級) となる。
	19. 8. 31	南校舎耐震補強工事完成
	21. 3. 31	静岡県立静岡中央高等学校通信制の課程協力校を閉校
	21.12.11	北校舎耐震補強工事完成
	22. 4. 1	入学定員普通科 360人(9学級) 理数科 40人(1学級) となる。
	23. 3. 15	武道場耐震補強建築工事完成
	23. 4. 1	入学定員普通科 320人(8学級) 理数科 40人(1学級) となる。
	24. 4. 1	入学定員普通科 360人(9学級) 理数科 40人(1学級) となる。
	24.10. 5	創立50周年記念式典挙行
	25. 4. 1	入学定員普通科 320人(8学級) 理数科 40人(1学級) となる。
	26. 3. 28	災害用仮設トイレ 12基整備
	26. 4. 1	入学定員普通科 360人(9学級) 理数科 40人(1学級) となる。
	27. 4. 1	入学定員普通科 320人(8学級) 理数科 40人(1学級) となる。
令和	2. 4. 1	入学定員普通科 280人(7学級) 理数科 40人(1学級) となる。
	4. 4. 1	入学定員普通科 320人(8学級) 理数科 40人(1学級) となる。
	7. 4. 1	入学定員普通科 280人(7学級) 理数科 40人(1学級) となる。
	7. 4. 28	格技場、プール取壊し

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>共通テストを含む大学入試レベルの学力、更には、大学等、上級学校での学びに必要な学力を身に付け、生涯学び続ける姿勢を持つことができる。</p> <p>多様性の尊重、コミュニケーション能力、創造力、実践力の向上、SDGsの意識やグローバル的視野等を有し、目の前の課題を自らのものとして意識し、解決するための努力をすることができる。</p> <p>社会に貢献しようとする志を実現するために、俯瞰的に自己を見つめ、自らの未来を広い視野で思い描き、目標に向かって着実に努力をし、自信を持って行動に移すことができる。</p>	<p>普通科・理数科の併置により、生徒の適性や進路希望に対応した教育課程を編成する。また、放課後、土曜、長期休業中の補習を充実させ、大学入試等にも対応できる学力の向上を図る。</p> <p>授業、HR活動、生徒会活動、学校行事、部活動等において、チャレンジできる環境を作り、他者との関わりや協働活動を通して、直面する課題や困難を解決し自己の人間力の向上を図る。</p> <p>大学、地元企業、同窓会等と連携し、講演会や実習など「本物」に触れる機会を増やすと共に、総合的な探究の時間を通して学習と社会の関連を実感させ、社会で必要な力・スキルの習得、学力と人間力の土台となる志の向上を図る。</p>	<p>基礎学力が定着しており、探究心が強く主体的に学習しようとする意欲の高い生徒</p> <p>基本的な生活習慣が身に付いており、他者の考えや立場を理解し協働していく姿勢が持てる粘り強い生徒</p> <p>志を持ち、その実現に向けて自分の意志で行動し最善を尽くすことができる生徒</p>

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 高い志を育む

- a 自己理解を深めさせる
- b 志を育む情報と機会とを提供する
- c きめ細かな進路指導を行う

イ 学力を伸ばす

- a 学習意欲、思考力・判断力・表現力、知識・技能等を育む授業を充実する
- b **主体的な学習習慣を身に付けさせ、自学できる生徒を育成する**

ウ 人間力を高める

- a **自己管理能力を高める**
- b 主体性・創造性・協働性を育てる

エ 安心・安全な教育環境を整える

- a 施設・設備を整備する
- b 教育相談活動を充実する
- c 広報を充実する
- d 業務改善を図り教職員の健康を保持する

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 高い志を育む	a 自己理解を深めさせる	自分の興味・関心や適性を踏まえて進路を考えていると答える生徒80%以上	自分の興味・関心や適性を踏まえて進路を考えていると答える生徒 <u>86.8%</u>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導をメインに様々な機会を使って、生徒が将来を考える機会を提供できた。 ・昨年度より達成状況が上がっている。特に3年生の肯定的回答の割合が高くなっており、3年次の探究の充実をさらに目指したい。
	b 志を育む情報と機会とを提供する	自分の将来に対するはっきりとした夢や希望を持っていると答える生徒70%以上	自分の将来に対するはっきりとした夢や希望を持っていると答える生徒 <u>67.6%</u>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を真剣に考えるほど現代社会の課題に目が向けられ、夢や希望に繋がりにくい現状が見られる。 ・特に1年生の肯定的回答が60%と低く、入学時の進路希望調査の「進路未定」率の高さとも関連しているかもしれない。自らの進路について「なんとなく」決めている生徒が多い。 ・理数科は、年間を通し様々な行事を校内・校外において実施し、学年が上がるにつれ、目標が明確になっている。1年から目的をもって行事に取り組むよう指導が必要。
	c きめ細かな進路指導を行う	進路指導が充実していると答える生徒80%以上	進路指導が充実していると答える生徒 <u>75.3%</u>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりさらに下がった。1・2年生では肯定的回答が多いので、3年時の指導の充実が課題である。 ・社会で必要とされる力が大学入試に反映され、入試の多様化への対応が困難となっている。
イ 学力を伸ばす	a 学習意欲、思考力・判断力・表現力、知識・技能等を育む授業を充実させる	授業が充実しており、学習意欲が高まったと答える生徒80%以上	授業が充実しており、学習意欲が高まったと答える生徒 <u>74.9%</u>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器を用いて授業をする教員は増えている。 ・「探究」を得意としない生徒が一定数存在していると考えられる。 ・下2つの項目の評価と比べると、きちんと習うことはできているが、授業で意欲を引き出す部分が不足している。 ・授業での学習意欲を高めることが、学校への出席率にも繋がる。 ・業務改善等を行い、教員の授業力向上が急務である。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
イ 学力を伸ばす		授業で、習得した知識・技能をもとに、より深く学ぶことができたと答える生徒 80%以上	授業で、習得した知識・技能をもとに、より深く学ぶことができたと答える生徒 <u>79.4%</u>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・深い学びは難しい問題を解くことではなく、本質を理解することである意識の醸成が必要。 ・教員の割合は83.9%で生徒の意識と乖離が少なくなった。引き続き家庭学習の質、思考力・判断・表現」の評価なども併せて考えていく必要がある。
		授業がわかりやすく、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いたと答える生徒 85%以上	授業がわかりやすく、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いたと答える生徒 <u>79.4%</u>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・「知識・技能」と「思考・判断・表現」のバランスを考慮した授業展開の継続が必要。 ・こうした授業を目指す教員の割合は90.3%と高いが、生徒の意識と乖離があり、生徒の実態に即した授業内容を検討すべきである。
	b	主体的な学習習慣を身に付けさせる 家庭学習時間 平日2時間以上 休日3時間以上 主体的に学習する習慣があると答える生徒 70%以上	家庭学習時間 平日2時間以上 休日3時間以上 <u>50.8%</u> 主体的に学習する習慣があると答える生徒 <u>60.5%</u>	C	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年生が昨年より極端に低くなっており、原因を考える必要がある。学習の必要性を理解させる指導を行い、学習時間と質が学力の定着に結びつく実感できる環境づくりを目指したい。目標値の根拠を示し、意欲を向上させる仕掛けが必要。 ・登下校や部活動で時間確保が困難な生徒もいる。
		補習等授業以外学習機会が充実していると答える生徒 80%以上	補習等授業以外の学習機会が充実していると答える生徒 <u>75.3%</u>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・目標には届いていない。土曜補習の在り方を検討するにあたり、スタディサプリ等の積極的活用が必要ではないか。
		学習活動で励ましあう友人がいると答える生徒 90%以上	学習活動で励ましあう友人がいると答える生徒 <u>87.7%</u>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な関係では学びに向かう学習集団が形成できている。 ・一部の生徒間でわからないところを互いに教えあう姿が見られた。これを全体に広げていきたい。 ・2・3年生は1,2年次よりも肯定的回答が増えているのが良い。3年生ではさらに高まってほしい。
		月に1冊以上読書をしていると答える生徒 70%以上	月に1冊以上読書をしていると答える生徒 <u>52.0%</u>	D	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書時間の削減(10分から5分に短縮)の影響が出ている。朝読書以外に読書を推進する方法を考える必要がある。 ・教員の読書に対する意識の低さが要因となっている。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
					・月1冊以上が読書習慣なのかを含め再検討が必要。
ウ 人間力を高める	a 自己管理能力を高める	遅刻早退欠席計3回以内 75%以上 毎日朝食摂取 95%以上 睡眠時間6時間確保 55%以上	遅刻・早退・欠席計3回以内 65.7%(2学期まで) 毎日朝食摂取 97.6% 睡眠時間6時間確保 未実施	B	・学校の意義や必要性を理解している生徒が少ない。高校生活でしか学べないこととは何か、学校生活の大切さを伝え続けたい。 ・毎日の朝食接種率は各学年高い数値になっている。
		交通法規を守っていると答える生徒 90%以上 重大な交通事故ゼロ 避難先や避難経路を把握していると答える生徒 80%以上	交通法規を守っていると答える生徒 88.5% 重大な交通事故 0件 避難先や避難経路を把握していると答える生徒 75.5%	B	・生徒の意識と、事故や自転車の交通違反切符が多い実態に乖離が見られる。(同じ生徒が繰り返しているかもしれない。)日常生活での注意喚起を、根気強く行っていきたい。 ・南海トラフの危険性が高まる中で重要な項目であり、具体的な場面を想定しながら、意識を高める必要がある。
		校則やマナーを守っていると答える生徒 90%以上 提出期限を守る、役割を果たしていると答える生徒 90%以上	校則やマナーを守っていると答える生徒 88.8% 提出期限を守る、役割を果たしていると答える生徒 82.8%	B	・新制服の運用や、携帯電話の使用など、生徒が考えるルールやマナーの解釈に差があり、指導が難しかった。生徒の主体性を大切にしながら、教職員が統一した見解をもって指導に当たりたい。 ・高校でしか学べない集団生活の意義と責任を身に付けさせる必要がある。
	b 主体性・創造性・協働性を育てる	学校行事により人間力が高められたと答える生徒 80%以上	学校行事により人間力が高められたと答える生徒 86.7%	A	・生徒が主体となって、行事を企画し運営できた。いろいろな生徒が活動する行事を通して生徒の成長が見られた。 ・感染症対策の制限なく行事を行うことができ、高評価につながったのではないかな。
		部活動により人間力が高められたと答える生徒 80%以上 部活動と学習活動を両立させていると答える生徒 70%以上	部活動により人間力が高められたと答える生徒 82.0% 部活動と学習活動を両立させていると答える生徒 75.8%	B	・各部活動が、熱心に取り組み、学校が盛り上がった。人間力の育成、人間性の成長に繋がったと感じた。 ・大学入試の評価に高校生活での実績が評価の対象となるため、部活動による人間力向上の重要性を説く必要がある。次年度以降、部活動への自由加入となっても、学校として加入を奨励していきたい。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
工 安 全 ・ 安 心 な 教 育 環 境 を 整 え る	a 施設・設備を整備する	学習に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒 70%以上 体育・部活動等に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒 70%以上 校内美化(掃除等)に努めていると答える生徒 80%以上	学習に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒 <u>79.8%</u> 体育・部活動等に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒 <u>71.4%</u> 校内美化(掃除等)に努めていると答える生徒 <u>80.1%</u>	B	・R9年度の新校舎移転を控え、既存校舎において、様々な不具合が発生したが、生徒の安全及び環境整備を最優先に考え、迅速な対応と適切な予算措置を講じて対応した。今後も、生徒が安心して学べるよう、安全な教育環境の整備に尽力していく。 ・校内美化について、前年度より評価は低くなっているが、80%は超えることができた。
	b 教育相談活動を充実する	悩みを相談できる人がいると答える生徒 85%以上	悩みを相談できる人がいると答える生徒 <u>83.8%</u>	B	・目標値よりも少し数値が下回ってしまったが、学校生活を安心して送っている生徒が多い。
	c 広報を充実する	(本校の教育方針や教育活動を、配布物やホームページ等を通じて)わかりやすく伝わっていると答える保護者 80%以上	(本校の教育方針や教育活動を、配布物やホームページ等を通じて)わかりやすく伝わっていると答える保護者 <u>83.6%</u>	B	・ホームページが新システムに変更されたが、スムーズに移行ができた。 ・ホームページや浜南高通信での手立ては変わっていないが、PTA総会の参加率は59%から66%と高くなった。 ・校長ブログを立ち上げた。日々の教育活動の発信に努めたい。
	d 業務改善を図り教職員の健康を保持する	ストレスチェック分析事業で総合健康リスクが100(全国平均)を下回る	ストレスチェック分析事業で総合健康リスク <u>約10ポイント低い</u>	A	・教職員全員がストレスチェックを実施し、健康管理を保持している。 ・業務改善を進め、健康な働き方の意識を高めたい。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標
 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア 高い志を育む	a 自己理解を深めさせる	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間等を通じて、自己の在り方・生き方や進路について考え、自己の足跡を記録として残していく。 発信型(アウトプット)的活動を通じて、自己理解を深めるとともに、志を育む。 	自分の興味・関心や適性を踏まえて進路を考えていると答える生徒80%以上	全教員 進路課 図書課
	b 志を育む情報と機会とを提供する	<ul style="list-style-type: none"> 適切な情報を提供し、本人の希望・適性を踏まえ丁寧な文理類型登録・科目登録の指導を行う。 進路希望調査を定期的実施し面談等で取組状況等アドバイスを行い、進路意識の高揚を図る。 キャリア・プランニングの意識高揚のためのOB講話、進路講話を実施する。 興味・関心や探究心の高揚のため、様々な講演や訪問、他高校との交流等を行う。特に理数科は、その特性を深め学習の支援や専門的な研究に触れるため大学訪問や研究施設を訪問する。 	自分の将来に対するはっきりとした夢や希望を持っていると答える生徒が卒業時に、入学時に対して30%up	全教員 進路課 理数科
	c きめ細かな進路指導を行う	<ul style="list-style-type: none"> 面接週間や三者面談等で、1、2年生は年3回以上、3年生は年5回以上、個人面接等を実施し、家庭との連携のもと、一人ひとりの状況、志望、到達可能地点等を詳しく把握し指導する。 各種テスト、模試結果、教育的な到達可能地点を関係職員で共有して、生徒へフィードバックし、個別の進路指導を行う。特に1年生に対しては丁寧に指導する。 	進路指導が充実していると答える生徒80%以上 文理選択、進学について生徒自身がプレゼンテーションを行う	全教員
イ 学力を伸ばす	a 学習意欲、思考力・判断力・表現力、知識・技能等を育む授業を充実する	(ア) 学習意欲を高める指導を充実する。 <ul style="list-style-type: none"> BYODの推進、観点別評価の活用等により授業への関心・意欲を高める。 生徒の努力を適切に評価することで自己肯定感を育て授業の中で生徒同士が教え合うことで授業の理解度を深める機会を積極的につくる。 	授業が充実しており、学習意欲が高まったと答える生徒80%以上	全教員 教務課 研修課
		(イ) 思考力・判断力・表現力を育成する。 <ul style="list-style-type: none"> 習得した知識・技能を活用させるために、グループワークやアウトプットの授業を取り入れる。 言語活動(聞く・話す・書く・読む)を充実させる。 授業改善を図るため、積極的に授業参観(他教科を含む)や外部の教科研修等に参加し、教材研究に役立てる。 探究活動発表を公開し成果をフィードバックする。 	授業で、習得した知識・技能をもとに、より深く学ぶことができたと答える生徒80%以上 探究活動が充実していたと答える生徒70%以上	全教員 教務課 研修課
		(ウ) 基礎的・基本的な知識・技能を定着させる。 <ul style="list-style-type: none"> 小テスト、課題等により、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 わかりやすい授業を行い、基礎的・基本的な知識・技能の更なる定着と、思考・判断・表現等を育む活動につなげる。 	授業がわかりやすく、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いたと答える生徒85%以上	全教員 教務課 研修課

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
イ 学力を伸ばす	b 主体的な学習習慣を身に付けさせる	(ア) 自ら行う学習を習慣化させる。 ・定期的に授業以外での学習調査、定期テスト・部活動予定等の早期の告知と併せ目標・スケジュール管理を主体的にできる指導を行う。 ・学力の測定ツール及び模試結果をフィードバックし、個別に改善指導を行う。 ・教員が ICT 等を活用し個別最適化された学習に取り組む。	平日 2 時間、休日 3 時間以上の自学の時間確保 主体的に学習する習慣があると答える生徒 70% 以上	全教員 教務課 進路課
		(イ) 自ら学べる機会を設けるとともに外部教育機関との連携した学習機会を提供する。 ・夏季及び土曜の補習の効果について検証を行い改善を加える。 ・外部教育機関の学力テスト・資格試験等の受験機会を提供する。	授業以外学習機会が充実していると答える生徒 80% 以上 補習の検証と 7 時間目削減に向け検討を行った	進路課 全教科
		(ウ) 高め合える学習集団を形成する。 ・志の育成を通して進路意識を高め、授業以外の時間でも、学年やクラスとして生徒同士が競い合い励まし合う雰囲気をつくる。	学習活動で励ましあう友人がいてと答える生徒 90% 以上	全教員 進路課
		(I) 読書習慣を身に付けさせる。 ・「心に残る本」に出会えるような読書活動や広報活動を通じ、読書習慣を身に付けさせる。 ・新校舎における図書室の活用について検討し、探究活動につながる読書活動を工夫する。	心に残る本に出合ったと答える生徒 50% 以上	全教員 図書課
ウ 人間力を高める	a 自己管理能力を高める	(ア) 健康で規則正しい生活習慣を身に付けさせる。 ・遅刻・早退・欠席、朝食摂取、睡眠時間の確保等の健康管理、スマホの利用等について日常的に指導する。	生活習慣が確立していると答える生徒 80% 以上	全教員 厚生保健課 生徒課
		(イ) 交通安全と防災の意識を高め、命を守る。 ・集会等で繰り返し交通安全について指導する。 ・交通指導員・保護者・地域等と連携して街頭交通指導を行う。 ・地震(津波)や火災等の災害に対する知識、避難の方法など、定期的な訓練を通じて、いつでもどこでも対応できる防災教育の徹底を図る。	交通法規を守っていると答える生徒 90% 以上 重大な交通事故ゼロ 避難先や避難経路を把握していると答える生徒 80% 以上	全教員 生徒課 総務課
		(ウ) 規範意識を身に付けさせる。 ・言葉遣いや挨拶、服装(新制服導入含む)・頭髪等身だしなみについて日常的に指導するとともに、生徒会活動等を通して、主体的に取り組む姿勢を育てる。 ・提出物の期限厳守や与えられた役割を責任もって遂行させる。 ・共に学ぶ仲間、共有して使う場所(校舎、教室等)を大切にする心を育てる。	校則やマナーを守っていると答える生徒 90% 以上 提出期限を守る、役割を果たしていると答える生徒 90% 以上	全教員 生徒課 厚生保健課

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ウ 人間力を高める	b 主体性・創造性・協働性を育てる	(ア) 学校行事・生徒会活動等を充実する。 ・波濤祭・体育大会等の学校行事、生徒会活動、学級活動等で、生徒が教員と話し合い、企画・運営する機会を設けることを通してチャレンジできる環境を整え、主体性・創造性・協働性を育てる。 ・生徒が学校経営に参画する機会を設ける。	学校行事により人間力が高められたと答える生徒80%以上 生徒が行事や学校運営に対して提言を行った	全教員 生徒課
		(イ) 部活動を充実する。 ・部活動ガイドラインに基づいて、主体性・創造性・協働性を育てる。 ・部活動月予定を早期に提示し、部活動と学習活動を両立させる。(午後7時30分完全下校等)	部活動により人間力が高められたと答える生徒80%以上 部活動と学習活動を両立させていると答える生徒70%以上	部活動顧問
エ 安心・安全な環境を整える	a 施設・設備を整備する	・新校舎に向け、図書室、進路指導室、自習室等の学習に関わる施設・設備の整備運用の工夫を行う。 ・体育・部活動等に関わる施設・設備の整備に努める。 ・地震(津波)や火災等災害に対する施設・設備の整備に努めるほか、非常用飲料水等備蓄についても継続して計画的に行い、職員、生徒に周知する。 ・老朽化した校舎・施設の修繕とともに校内美化に努める。清掃とごみの分別の徹底、清掃用具の整備に努める。	学習に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒70%以上 体育・部活動等に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒70%以上 校内美化(掃除ゴミ拾い等)に努めていると答える生徒80%以上	事務部 全教員 総務課 厚生保健課
	b 教育相談活動を充実する	・担任の面接を充実し、スクールカウンセラーや心理アドバイザーと連携して、困難を抱える生徒を支援する。 ・生徒の困り感を全職員で共有する。	悩みを相談できる人がいると答える生徒85%以上 ICT等を用いた情報共有システムがある	厚生保健課
	c 広報を充実する	・本校の教育方針や日常的な教育活動を、配布物・ホームページの定期的な更新を通じてわかりやすく伝える。 ・全ての情報をホームページに一元化し、C-ラーニングや配布物からもホームページに誘導する。 ・1台PC他ICT等を用いてペーパーレス化と学校・生徒・保護者間の情報共有を図る。	わかりやすく伝わっていると答える保護者80%以上 印刷物の配布前年比2割減	教務課 管理職 (教頭)
	d 業務改善を図り教職員の健康を保持する	・定期的に職員安全衛生委員会を開催し、教職員の健康の保持増進を図る。 ・ICT等の活用により業務量を軽減する。 ・部活動ガイドラインに基づいた部活動指導を徹底する。 ・部活動、交通指導で外部人材を活用する。 ・業務削減、改善等について研修を継続的に行う。 ・学校運営協議会と連携し学校改革・業務改善を行う。	ストレスチェック分析事業で総合健康リスクが100(全国平均)を下回る。年100時間以上の有給休暇の取得 学校運営協議会から提言をいただき1件以上の改善を行う	管理職 厚生保健課 生徒課

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京大学教養学部主催「高校生のための金曜特別講座」インターネット配信校として講座を受講(対象:全学年) ・ 理数科独自の行事の実施 研究施設訪問、大学見学等 ・ OB講話の実施(対象:1年生) ・ 現役大学生との懇談会(対象:2年生) ・ 中学校への広報活動 出前授業、進路講話、学校説明会 ・ 午後7時30分完全下校(学習と部活動の両立) ・ 地域防災訓練への参加指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定した金曜日に受講希望の生徒を対象に13回実施した。 ・ 夏季休業中に、防潮堤見学(1年)放射線セミナー(1年)静岡大学工学部実験実習講座(2年)自然科学研究機構訪問(1年)を実施した。 ・ 12月に電気通信大学高田准教授、静岡大学荻野准教授、1月に横浜国立大学加藤准教授を招いて講演会を実施、9月に1泊2日で東京大学・筑波学園都市訪問(2年)を実施した。 ・ 同窓会に講師の紹介を依頼し、9名の卒業生が講話を行った(9/24)。 ・ 9月12日に、本校卒業生の現役大学生を県内外から招聘し懇談会を実施した。 ・ 依頼のあった中学校に対し出前授業、進路講話、学校説明会を実施した。 ・ 職員会議等で職員の共通理解を図り、部活動顧問を通じて生徒への指導を徹底し、全校で取り組む体制づくりができた。 ・ 各地域の防災訓練の日程を確認し、生徒へ事前に周知し、参加を促した。 ・ 家庭部が「おにぎりフェス in 浜松 2024」に参加し、商品開発に取り組んでいる。また、市役所から「青春はままつ応援隊」に認定され活動している。
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京大学教養学部主催「高校生のための金曜特別講座」インターネット配信校として講座を受講 ・ 理数科独自の行事の実施 研究施設訪問、大学見学等 ・ 中学校への広報活動 出前授業、進路講話、学校説明会 ・ 午後7時30分完全下校(学習と部活動の両立) ・ 地元企業等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定した金曜日に受講希望の生徒を対象に7月末までに13回実施した。(対象:全学年) ・ 夏季休業中に、防潮堤見学(1年)放射線セミナー(1年)自然科学研究機構訪問(1年)を実施した。 ・ 依頼のあった中学校に対し出前授業、進路講話、学校説明会を実施した。 ・ 職員の共通理解が図られ、全校で取り組む体制となっている。部活動と学習の両立ができるという生徒の声もある。 ・ 家庭部が「おにぎりフェス in 浜松 2025」に参加し、商品開発に取り組んでいる。

5 教職員について

(1) 異動状況

職名 区分	教育職員					行政職員					臨時・会計年度任用職員					合計				
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	小計	事務長	主査	主任	主事	主任技能員	小計	教諭(臨)	非常勤講師	部活動指導員		非常勤嘱託員	非常勤労務職員	小計	
転出者		1		4	1	6	1			1		2							8	
退職者				6		6								1	1				2	8
再任用 (退職)				2		2					1	1								3
転入者		1		6	1	8	1					1								9
新任者				1		1				1		1		4	2		1		7	9
再任用 (新任)				2		2														2
差引 増減		0		3	0	3	0			0	1	1		3	1		1		5	1

(2) 現員数

(令和7年7月31日現在)(単位:人)

職名	教育職員							行政職員					臨時・会計年度任用職員					合計
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	小計	事務長	主査	主任	主事	小計	非常勤講師	部活動指導員	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	小計	
人数	1	1	1	55	2	1	61	1	2	1	1	5	9	3	1	3	16	82

(3) 健康管理について

令和6年度

ア 職員の健康管理と病気の早期発見、早期治療に努めている。生活習慣病検診、指定年齢検診及び人間ドックの受診率100%であった。

イ 職員安全衛生委員会をほぼ毎月開催し、健康管理医のアドバイスをいただき、職員の健康管理に努めた。

ウ ワーク・ライフ・バランスの実現のため、定時退勤日をテスト週間など実施できそうな日に随時設定し、校務パソコンデータベースの校内掲示板にて教職員に周知した。

令和7年度

ア 職員の健康管理と病気の早期発見、早期治療に努めている。生活習慣病検診、指定年齢検診及び人間ドックの受診率100%を目指している。

イ 職員安全衛生委員会をほぼ毎月開催し、健康管理医のアドバイスをいただき、職員の健康管理に努めている。

ウ 教職員を対象とした救急救命講習を実施する予定である。

エ ワーク・ライフ・バランスの実現のため、定時退勤日をテスト週間など実施できそうな日に随時設定し、校務パソコンデータベースの校内掲示板にて教職員に周知する。

(4) 教職員の研修について

ア 目的

・教職員の指導技術及び資質の向上を図る。

イ 令和6年度研修内容及び成果

研修名	研修内容	成果
校内研修	・「新しい学校の在り方について」を研修テーマとして、令和6年度から2年間継続の取組み。	・令和6年度から新制服が導入され、新校舎建設も準備段階を迎えている。生徒の多様化、教員の入れ替わり等から教科指導、生徒指導の在り方について変容を迫られている中で、校内研修を通して問題提起をした結果、新しいシラバスやカリキュラムの作成に向けて、業務改善の動きが少しずつ見られた。
	・授業改善を目指して、6月に授業研究週間を設け、授業公開による職員研修を行った。	・本年度は各教科の代表が観点別評価のための授業構想を「学びのデザインシート」にまとめ、3観点の評価基準を示して授業を実践し、授業後は評価の具体例をデザインシートに記して、指導の振り返りを行うことができた。
	・初任者(2名)、2年次(3名)、3年次(1名)、6年次(4名)、7年次(1名)、中堅教員(期2名)に対して悉皆研修に加え、本校ガイドラインに沿った研修を実施した。	・研究授業と教科内協議を通じて教材理解を深めると同時に、教授方法や授業構成の仕方など授業改善につながる議論を深めることができた。学びのデザインシートの活用も進めることができた。
授業研究セミナー	・長期休業中に、進学予備校の授業研究セミナーに国語1名、公民1名、数学1名、理科1名がリモートで参加した。	・最新の指導法を教科内で共有することで、教科指導力の向上に資することができた。また本校生徒への受験指導にも大いに役立てることができた。
総合教育センター研修	・各教科・分掌・事務室等に関わる教職員の資質向上のため研修に参加した。	・教科指導、生徒指導、進学指導、事務処理などを目的として、参加した教職員の資質および指導力向上につなげることができた。
研修案内	・NESの学校掲示板等を用いて各種研修会の情報提供と支援を行った。	・総合教育センターや各種研究会等から届く研修会の案内をNESの学校掲示板を通じて情報提供した。
不祥事根絶研修	・不祥事根絶担当者研修会での講義内容及び県教委配布資料を確実に伝達した。	・懲戒処分事例を見てグループで話し合い、法令順守の意識を高めることができた。

ウ 課題

多くの教職員が多様な業務に携わっている中で研修時間の確保は難しいが、新学習指導要領に対応するため、クロームブック等 ICT 機器の活用や生徒の主体的な学びを大切にする雰囲気を作られてきている。また、年次研修者の研究授業・授業参観は、授業者・参観者双方が授業を見つめ直す良い機会となっている。一方、主体的・対話的で深い学びにつながる授業展開とそれに関連した評価については、実践を踏まえて教科間での一層の意見交換を通じた改善が必要だと考えられる。

エ 令和7年度研修計画

研修名	研修計画
校内研修	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の校内研修は2年間継続のテーマ「新しい学校の在り方について」の2年目にあたり、校内研修会にて教科別協議の後、教科・分掌の枠を超えた協議会を実施する。 ・授業改善を目指して、6月に授業研究週間を設け、授業公開による職員研修を行う。 ・初任者(1名) 2年次(1名) 3年次(1名) 7年次(1名) 8年次(3名) 中堅教員(期1名、期4名)に対して悉皆研修に加え、本校ガイドラインに沿った研修を実施する。 ・定期訪問に関連した研究授業、校内研修会を予定している。
授業研究セミナー、小論文指導セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中に、進学予備校の授業研究セミナーに国語、公民、数学、英語各1名がリモートで参加を予定している。 ・すべての教員に小論文指導セミナーの受講を推奨している。
総合教育センター研修	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科・分掌・事務室等、教職員の資質向上のため研修に参加する。
研修案内	<ul style="list-style-type: none"> ・NESの学校掲示板等を用いて各種研修会の情報提供と支援を行う。
不祥事根絶研修	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事根絶担当者研修会での講義内容及び県教委配布資料を確実に伝達する。 ・ICT利用上の校内ルールの徹底・遵守

6 防災対策について

令和6年度

(1) 計画

- ・地域との連携強化
- ・防災能力向上を目指す実践的な防災訓練

(2) 取組

実施日	訓練事項及び内容	対象
令和6年4月16日	防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・大地震が発生し、津波の危険があることを想定した避難、人員点呼の実施 ・帰宅経路の確認 ・集団下校班のメンバー確認 	全員
令和6年4月下旬	各HR防災用品の確認	防災委員、担当職員
令和6年8月9日	防災関係物品の確認 防災テント、備蓄品などの確認	総務課、事務、管理職

実施日	訓練事項及び内容	対 象
令和6年8月29日	防災訓練 ・チェックシートを活用して、防災意識を確認 ・災害発生時の避難経路の確認	全員
令和6年12月1日	地域防災訓練参加 ・防災だより発行	全員
令和6年3月下旬	防災倉庫点検 ・防災用品の確認など	総務課職員

(3) 評価・改善

8月に南海トラフ地震臨時情報が発令されたことにより、防災関係物品の確認をした。8月下旬に実施予定だった火災発生を想定した避難訓練は、天候状況から中止とし、チェックシートを活用して、防災意識の向上に取り組んだ。12月に予定していた救助袋降下訓練は、予算の関係上、実施することができなかった。その他の取組事項については、概ね計画通り実施できた。訓練に対する生徒の取組状況は、たいへん真剣なものであった。また、生徒会活動では、防災委員を中心として、各HRの防災用具の点検、防災訓練の呼びかけ等、積極的に活動できた。

令和7年度

(1) 計画

- ・地域との連携強化
- ・防災能力向上を目指す実践的な防災訓練

(2) 取組（計画）

実施日	訓練事項及び内容	対象
令和7年4月15日	防災訓練 ・大地震が発生し、津波の危険があることを想定した避難、人員点呼を実施した。 ・帰宅経路の確認 ・集団下校班のメンバー確認	全員
令和7年7月30日	防災関係物品の確認 ・防災テント、備蓄品などの確認	総務課、事務、管理職
令和7年8月27日	防災訓練 ・チェックシートを活用して、防災意識を確認	全員
令和7年9月下旬	各HR防災用品の確認・補充	防災委員、担当職員
令和7年12月1日	地域防災訓練参加 ・防災だより発行	全員
令和8年3月下旬	防災倉庫点検 ・防災用品の確認など	総務課職員

7 学校開放について

地域住民の社会教育活動、文化活動、スポーツ活動、その他の生涯学習活動の振興のために、体育施設（体育館等）を開放することとしている。

令和6年度

施設名	日数	参加利用者数	利用者負担金 (電気料)
第二体育館	54日	879人	24,850円

令和7年度

(令和7年7月31日現在)

施設名	日数	参加利用者数	利用者負担金 (電気料)
第二体育館	17日	335人	7,363円
グラウンド	1日	17人	0円

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する事	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条～第3条、第50条～第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令
2 学校の管理・運営に関する事	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 社会教育法（第43条、第45条、第47条、第48条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条、第5条） 静岡県教育委員会処務規程 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県公立高等学校等就学支援金等事務処理要領 静岡県公立高等学校等高校生等臨時支援金事務処理要綱 静岡県高等学校等奨学給付金事務処理要領 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） いじめ防止対策推進法（第7条、第8条、第13条）

学校施設の概要

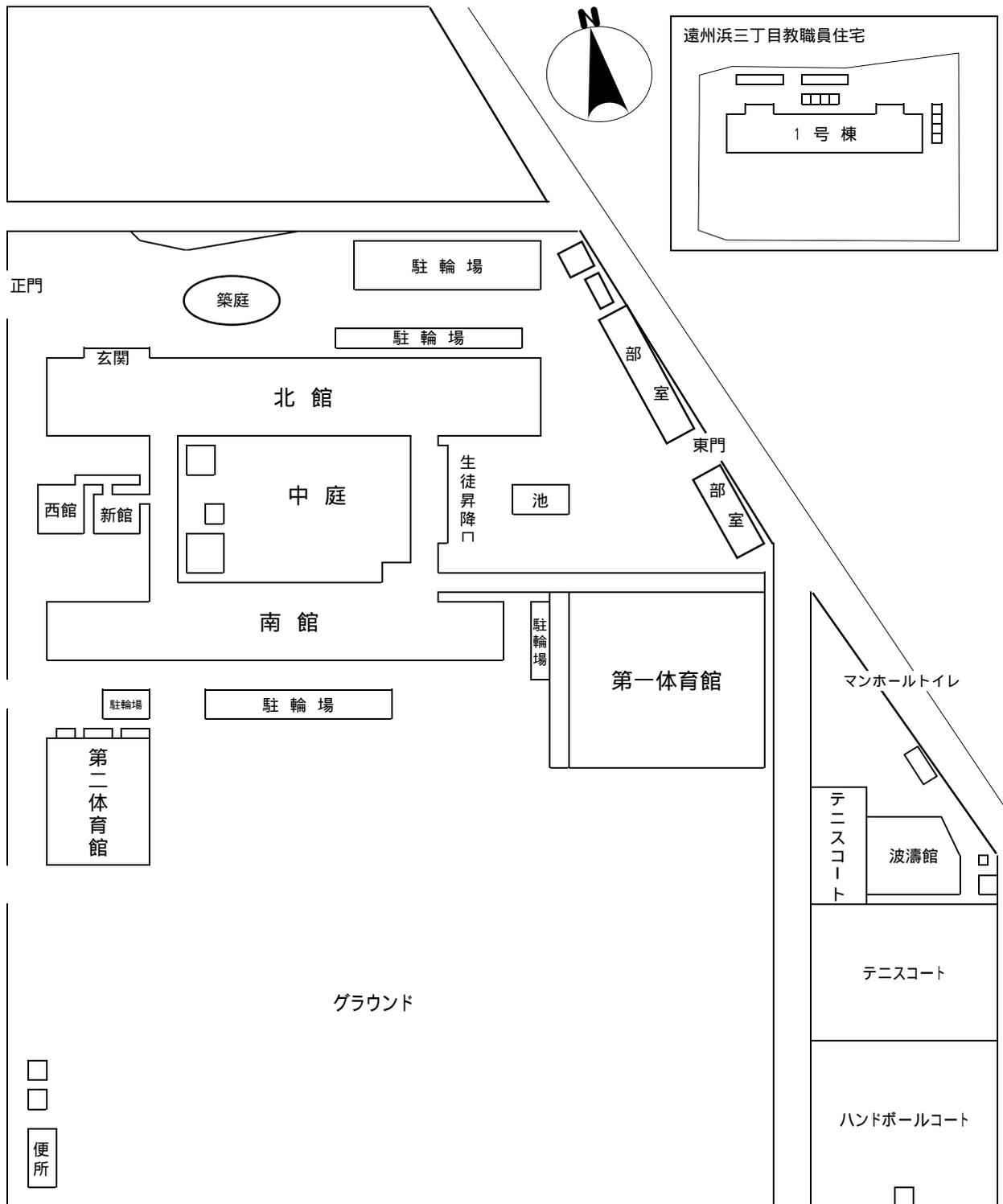
1 面積及び所有区分

(令和7年7月31日現在)

区 分	面積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	P T A 有 m ²	生活館管理 委員会有 m ²	民 有 m ²	
学校敷地	42,290.98	42,290.98					
内 訳	校舎敷地	17,407.63	17,407.63				
	運動場敷地	20,018.86	20,018.86				
	その他の敷地	4,864.49	4,864.49				
校 舎	建 <u>2,855.70</u> 延 <u>8,551.84</u>	<u>2,855.70</u> <u>8,551.84</u>					
体 育 館	建 <u>2,141.83</u> 延 <u>2,270.51</u>	<u>2,141.83</u> <u>2,270.51</u>					
その他の建物	建 <u>1,474.18</u> 延 <u>1,630.79</u>	<u>1,377.02</u> <u>1,451.05</u>		<u>97.16</u> <u>179.74</u>			
生 活 館	建 <u>417.58</u> 延 <u>1,065.96</u>				<u>417.58</u> <u>1,065.96</u>		
職 員 住 宅	12戸	12戸					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	42,290.98 m ²	8,551.84 m ²	20,018.86 m ²
県平均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

在籍生徒調

(令和7年7月31日現在)

学年	学科別		普通科				理数科				(合計)			
	区分		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1年	入学者		280	135	152	287	40	33	9	42	320	168	161	329
		増加												
		減少												
	現在			135	152	287		33	9	42		168	161	329
2年	入学者		320	167	160	327	40	32	10	42	360	199	170	369
		増加												
		減少												
	2年時当初			167	160	327		32	10	42		199	170	369
		増加												
		減少												
現在			167	160	327		32	10	42		199	170	369	
3年	入学者		320	185	142	327	40	35	7	42	360	220	149	369
		増加												
		減少		4	4	8		1		1		5	4	9
	2年時当初			181	138	319		34	7	41		215	145	360
		増加												
		減少		3	2	5		3		3		6	2	8
	3年時当初			178	136	314		31	7	38		209	143	352
		増加												
減少				1	1							1	1	
現在			178	135	313		31	7	38		209	142	351	
合計				480	447	927		96	26	122		576	473	1,049

入学志願者及び入学者数調

区 分		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度	
学 科 別		普通	理数	普通	理数	普通	理数	普通	理数	普通	理数
生徒定員 (A)		280	40	320	40	320	40	320	40	280	40
募集者数 (B)		280	40	320	40	320	40	320	40	280	40
志願者数	男	167 (0)	60 (0)	149 (0)	84 (0)	179 (0)	66 (0)	201 (0)	63 (0)	148 (0)	59 (0)
	女	130 (0)	21 (0)	155 (0)	20 (0)	151 (0)	17 (0)	202 (0)	15 (0)	177 (0)	11 (0)
	計 (C)	297 (0)	81 (0)	304 (0)	104 (0)	330 (0)	83 (0)	403 (0)	78 (0)	325 (0)	70 (0)
受検者数	男	167 (0)	57 (0)	148 (0)	83 (0)	179 (0)	65 (0)	199 (0)	63 (0)	148 (0)	59 (0)
	女	129 (0)	21 (0)	154 (0)	20 (0)	149 (0)	17 (0)	202 (0)	15 (0)	177 (0)	11 (0)
	計 (D)	296 (0)	78 (0)	302 (0)	103 (0)	328 (0)	82 (0)	401 (0)	78 (0)	325 (0)	70 (0)
合格者数	男	160 (0)	32 (0)	173 (0)	35 (0)	185 (0)	35 (0)	167 (0)	32 (0)	135 (0)	33 (0)
	女	127 (0)	10 (0)	156 (0)	7 (0)	142 (0)	7 (0)	160 (0)	10 (0)	152 (0)	9 (0)
	計 (E)	287 (0)	42 (0)	329 (0)	42 (0)	327 (0)	42 (0)	327 (0)	42 (0)	287 (0)	42 (0)
志願倍率 (C) / (B)		1.06	2.03	0.95	2.60	1.03	2.08	1.26	1.95	1.16	1.75
受検倍率 (D) / (B)		1.06	1.95	0.94	2.58	1.03	2.05	1.25	1.95	1.16	1.75
入学者数	男	160	32	173	35	185	35	167	32	135	33
	女	127	10	155	7	142	7	160	10	152	9
	計 (F)	287	42	328	42	327	42	327	42	287	42
充足率 (F) / (A)		1.03	1.05	1.03	1.05	1.02	1.05	1.02	1.05	1.03	1.05

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別		全日制普通科			全日制理数科			(計)			
年 度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	
卒業生徒数		278	278	320	41	39	39	319	317	359	
内 訳	(進学志願者)	278	276	318	41	38	39	319	314	357	
	進 学 者	大学・ 短大	261	237	291	34	36	37	295	273	328
		専修・各 種学校等	2	12	6	0	1	1	2	13	7
		小 計	263	249	297	34	37	38	297	286	335
	就職者	0	2	2	0	1	0	0	3	2	
	自営者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	進学準備者	13	21	21	7	1	1	20	22	22	
	その他	2	5	0	0	0	0	2	5	0	
合 計		278	278	320	41	39	39	319	317	359	

2 求人状況(全日制のみ)

区 分	4年度	5年度	6年度
就職希望者数	0	3	2
求人数	93	148	144
求人倍率	0.0	0.0	0.0

3 資格取得状況

該当なし

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年7月31日現在) (単位:人)

市町名	浜松市	湖西市	磐田市	その他	合計
生徒数	935	85	21	8	1,049
構成比%	89.1%	8.1%	2.0%	0.8%	100%

(2) 通学方法 (令和7年7月31日現在) (単位:人)

区分	自転車	公共交通機関	その他	合計
生徒数	962	74	13	1,049
構成比%	91.7%	7.1%	1.2%	100.0%

2 部(クラブ)の加入状況 (令和7年7月31日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		15	12	/	27
男子	1年	125	27	16	168
	2年	127	58	14	199
	3年	113	54	42	209
	計(A)	365	139	72	576
	構成比	63.4%	24.1%	12.5%	100%
女子	1年	64	86	11	161
	2年	66	91	13	170
	3年	58	62	22	142
	計(B)	188	239	46	473
	構成比	39.8%	50.5%	9.7%	100%
合計	(A+B)	553	378	118	1,049
	構成比	52.7%	36.0%	11.3%	100%

(全日制)

授業料収

期別	月別	調定の状況							
		1年		2年		3年		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
	人	円	人	円	人	円	人	円	
一期	4								
	5			1	9,900			1	9,900
	6								
	7	109	3,237,300	118	3,504,600	123	3,653,100	350	10,395,000
	8								
	計	109	3,237,300	119	3,514,500	123	3,653,100	351	10,404,900
二期	7								
	8			1	19,800			1	19,800
	9								
	10	119	5,890,500	116	5,742,000	132	6,534,000	367	18,166,500
	11			1	9,900			1	9,900
	12	1	49,500					1	49,500
	計	118	5,841,000	116	5,751,900	132	6,534,000	366	18,126,900
三期	12								
	1	118	4,672,800	114	4,514,400	132	5,227,200	364	14,414,400
	2								
	3								
	計	118	4,672,800	114	4,514,400	132	5,227,200	364	14,414,400
合計	345	13,751,100	349	13,780,800	387	15,414,300	1,081	42,946,200	

納 状 況 調

(令和6年度)

収納の状況				異動者等の状況
納期内収納額	収納率	納期後	収 入	
円		円	未済額	
円	%	円	円	
				A. 期首収納権利発生額= 10,424,700 円 (351人×9,900円×3月)
9,900	100.0%	0	0	B. 収納権利増減額= 19,800 円 4月30日付転学 1 2年:1人 1人×9,900円×2月 = 19,800 円
10,395,000	100.0%	0	0	
			0	
10,404,900	100.0%	0	0	C. 収納必要額A+B= 10,404,900 円
				A. 期首収納権利発生額= 18,216,000 円 (368人×9,900円×5月)
19,800	100%	0	0	B. 収納権利増減額= 89,100 円 <内訳> 8月31日付転学 1 2年:1人 1人×9,900円×3月 = 29,700 円 10月10日付転学 1 2年:1人 1人×9,900円×1月 = 9,900 円 就学支援金遡及認定 1 1年:1人 1人×9,900円×5月 = 49,500 円
18,018,000	99.2%	0	148,500	
9,900		148,500	0	
		49,500		
18,027,900	99.5%	99,000	0	C. 収納必要額A+B= 18,126,900 円
				A. 期首収納権利発生額= 14,414,400 円 (364人×9,900円×4月)
14,414,400	100.0%	0	0	B. 収納権利増減額= 0 円
14,414,400	100.0%	0	0	C. 収納必要額A-B= 14,414,400 円
42,847,200	99.8%	99,000	0	D. 収納必要額= 42,946,200 円

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度 (令和 7 年 7 月 31 日 現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	397	0

預 金 調

(令和7年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘 要
静岡銀行可美支店	無利息型 普通預金	0021214	静岡県立浜松南高等学校 資金前渡者 鈴木 学	25,000	交際費、給与等
静岡銀行可美支店	無利息型 普通預金	0190561	(自振口) 静岡県立浜松南高等学校 資金前渡者 鈴木 学	0	公共料金等引落
残高合計				25,000	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年7月31日現在)

(単位:枚、円)

区 分	種 類	6 年度						7 年度						差引現在高	摘 要	
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出				
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			枚数
	10円券	16	160	26	260	16	160	26	260	0	0	2	20	24	240	公務連絡用
	22円券	0	0	8	176	0	0	8	176	0	0	0	0	8	176	
	26円券	0	0	12	312	12	312	0	0	0	0	0	0	0	0	
	84円券	25	2,100	0	0	25	2,100	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100円券	0	0	10	1,000	3	300	7	700	0	0	2	200	5	500	
	120円券	16	1,920	0	0	13	1,560	3	360	0	0	0	0	3	360	
	140円券	0	0	10	1,400	0	0	10	1,400	0	0	0	0	10	1,400	
	350円券	0	0	5	1,750	0	0	5	1,750	0	0	0	0	5	1,750	
	はがき	8	504	0	0	0	0	8	504	0	0	0	0	8	504	
計			4,684		4,898		4,432		5,150		0		220		4,930	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					5年度	6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	3,652,000	3,825,800	/
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	59,400	196,350	
計					3,711,400	4,022,150	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	11,000,000	1,111,000	/
計					11,000,000	1,111,000	0
(16) 公有財産 購入費							/
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	589,600	/
計					0	589,600	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	83,551,100	86,101,400	/
計					83,551,100	86,101,400	0
(21) 補償、補填 及び賠償金							/
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年7月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	/
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	
計					0	0
(14) 工事請負費						/
計					0	0
(16) 公有財産 購入費						/
計					0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	/
計					0	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	21,009,900	/
計					21,009,900	0
(21) 補償、補填 及び賠償金						/
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 産業廃棄物収集運搬・処分業務委託(廃液)	(株)大洋サービス	円 53,350	円 53,350	円 0	円 53,350	随契	6.4.5 ～ 6.9.30	6.6.7	円 53,350	授業で発生した廃液の収集運搬・処分業務	随契1号(少額)
2	産業廃棄物収集運搬・処分業務委託	サンワ環境整備(株)	29,700	29,700	0	29,700	随契	6.5.24 ～ 6.12.25	6.11.22	29,700	廃プラスチック他収集運搬・処分業務	随契1号(少額)
3	産業廃棄物収集運搬・処分業務委託	サンワ環境整備(株)	41,800	41,800	0	41,800	随契	6.10.28 ～ 7.3.28	6.12.6	41,800	廃プラスチック他収集運搬・処分業務	随契1号(少額)
4	産業廃棄物収集運搬・処分業務委託	サンワ環境整備(株)	41,800	41,800	0	41,800	随契	6.11.12 ～ 7.3.28	7.2.4	41,800	廃プラスチック他収集運搬・処分業務	随契1号(少額)
5	産業廃棄物収集運搬・処分業務委託	サンワ環境整備(株)	41,800	41,800	0	41,800	随契	7.1.10 ～ 7.3.31	7.3.5	41,800	廃プラスチック他収集運搬・処分業務	随契1号(少額)
6	産業廃棄物収集運搬・処分業務委託	サンワ環境整備(株)	29,700	29,700	0	29,700	随契	6.10.28 ～ 7.3.28	7.3.31	29,700	廃プラスチック他収集運搬・処分業務	随契1号(少額)
	事務関係計	6件								238,150		
1	(工事関係) 県立学校定期点検業務委託	(有)いま総合設計	7,679,540	3,784,000	0	3,784,000	一般	6.8.2 ～ 7.2.28	7.1.31	3,784,000	建築基準法第12条点検業務	浜松北高校、浜松西高校、浜松湖東高校、浜松湖南高校、浜松江之島高校、浜松商業高校、浜松特別支援学校、新居高校、湖西高校、浜名特別支援学校
	工事関係計	1件								3,784,000		
	合計	7件								4,022,150		
参考1	プール浄化装置保守点検業務委託	清化工業(株)		998,800	17,050	981,750		6.4.8 ～ 6.12.27			プール浄化装置保守点検業務	浜松東高校
2	消防用設備等保守点検業務委託	静岡県消防設備保守点検業協同組合		12,650,859	61,786	12,589,073		6.4.1 ～ 7.3.31			消防用設備等保守点検業務	浜松商業高校
3	可燃物収集運搬処分業務委託	環境保全(株)		運搬料 1校1回あたり @715 処分料 1Kgあたり @13.2	0	運搬料 1校1回あたり @715 処分料 1Kgあたり @13.2		6.4.8 ～ 7.3.31			可燃物収集運搬処分業務	浜松大平台高校
4	自家用電気工作物安全管理業務委託	遠鉄アシスト(株)		2,786,520	0	2,786,520		6.4.1 ～ 7.3.31			電気工作物安全管理業務	浜松湖東高校
5	警備業務委託	総合警備保障(株)静岡支社		6,705,600	0	6,705,600		1.10.1 ～ 6.9.30			学校警備業務	浜松北高校
6	警備業務委託	総合警備保障(株)静岡支社		8,448,000	0	8,448,000		6.10.1 ～ 11.9.30			学校警備業務	浜松北高校
	計	6件										

委託料に関する調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 産業廃棄物収集運搬・処分業務委託	サンワ環境整備㈱	円 29,700	円 29,700	円 0	円 29,700	随契	7.6.12 ～ 7.12.26		円	廃プラスチック他収集運搬・処分業務	随契1号 (少額)
	事務関係計	1件								0		
1	(工事関係) 県立学校定期点検業務委託	片山一級建築士事務所	8,169,700	3,630,000	0	3,630,000	一般	7.8.4 ～ 8.2.27			建築基準法第12条点検業務	浜松北高校、浜松西高校、浜松湖東高校、浜松湖南高校、浜松江之島高校、浜松商業高校、浜松特別支援学校、新居高校、湖西高校、浜名特別支援学校
	工事関係計	1件								0		
	合計	2件								0		
参考1	消防用設備等保守点検業務委託	静岡県消防設備保守点検業協同組合		12,540,000	0	12,540,000		7.4.1 ～ 8.3.31			消防用設備等保守点検業務	浜松商業高校
2	自家用電気工作物保安管理業務委託	遠鉄アシスト㈱		3,602,280	0	3,602,280		7.4.1 ～ 8.3.31			電気工作物保安管理業務	浜松湖東高校
3	可燃物収集運搬処分業務委託	環境保全㈱		運搬料 1校1回あたり @770 処分料 1Kgあたり @13.2	0	運搬料 1校1回あたり @770 処分料 1Kgあたり @13.2		7.4.7 ～ 8.3.31			可燃物収集運搬処分業務	浜松大平台高校
4	警備業務委託	総合警備保障㈱静岡支社		8,448,000	0	8,448,000		6.10.1 ～ 11.9.30			学校警備業務	浜松北高校
	計	4件										

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	令和6年度全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会	円 4,000	6.5.2
2	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催通知	令和6年度東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	2,000	6.7.5
3	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分739名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	21,948,300	6.7.31
4	全国理数科教育研究大会参加費	第52回全国理数科教育研究大会(大分大会)事務局	開催通知	令和6年度第52回全国理数科教育研究大会	5,000	6.8.1
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分721名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	35,659,800	6.10.31
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分転学者1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	9,900	6.11.11
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	49,500	6.12.13
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分719名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	28,442,700	7.1.31
計		8件			86,101,400	

負担金支出調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催通知	令和7年度全国高等学校長協会第77回総会・研究協議会	円 4,000	7.5.1
2	甲種防火管理新規講習受講料	一般財団法人日本防火・防災協会	講習会案内	防火・防災管理に関する講習	8,000	7.6.26
3	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分707名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	20,997,900	7.7.31
計		3件			21,009,900	

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契約金額		
					当初額	変更増減額	計
1	教育管理費	令和6年度静岡県立浜松南高等学校北館玄関屋上防水修繕工事	浜松市中央区米津町地内	891,000 円	770,000 円	0 円	770,000 円
2	教育管理費	令和6年度静岡県立浜松南高等学校北館屋上消火栓補給水槽修繕工事	浜松市中央区米津町地内	341,000	341,000	0	341,000
		合計	2 件	1,232,000	1,111,000	0	1,111,000

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契約金額		
					当初額	変更増減額	計
参考	教育管理費	令和5年度[第35-Z2439-01号]浜松南高等学校電気設備改修他工事	浜松市中央区米津町地内	64,284,000 円	62,700,000 円	3,157,000 円	65,857,000 円
参考	教育管理費	令和6年度[第36-Z1539-01号]浜松南高等学校格技場解体他工事	浜松市中央区米津町地内	85,866,000	81,950,000	18,997,000	100,947,000
参考	教育管理費	令和6年度[第36-Z1514-01号]浜松南高等学校校舍棟新築工事	浜松市中央区米津町地内	3,342,900,000	3,300,000,000	0	3,300,000,000
		合計	3 件	3,493,050,000	3,444,650,000	22,154,000	3,466,804,000

事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
随契	(株)アベノワーク	6.7.24 ~ 6.9.3	770,000 円	洗浄 83.3 m ² 既存アスファルト防水膨れ補修 1.0 式 防水端末シーリング打替 33.0 m 押えアングル防水取り合いシーリング 15.0 m ドレン廻り補修 1.0 箇所 下地調整 83.3 m ² 水性塗膜防水 平場 78.0 m ² 水性塗膜防水 立上 11.7 m サッシ方立シーリング 13.8 m サッシパネルシーリング打替 15.4 m サッシ中間ジョイントシーリング打替 7.4 m		随契1号(少額) 令達年月日 6.7.17 最終支払年月日 6.10.4
随契	日興電気通信(株)	7.1.7 ~ 7.3.7	341,000	仕切弁 1.0 個 逆止弁 1.0 個 配管用炭素鋼鋼管 白管65A 1.0 m 継手類 1.0 式 ボルト・ナット 1.0 式 配管工事費 1.0 式 ラッキング取り外し・復旧 1.0 式 仮設費 準備(調査・測量)清掃 1.0 式 撤去処分費 マニフェスト作成含む 1.0 式		随契1号(少額) 令達年月日 6.12.23 最終支払年月日 7.3.31
			1,111,000			

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
一般	東電設工業(株)	6.2.15 ~ 6.9.13	65,857,000 円	格技場解体及び新校舎建設に伴う改修 電灯幹線・弱電幹線切廻し 夜間照明設備改修 上記に係る電気設備工事一式		令達年月日 6.2.14 最終支払年月日 6.10.28
一般	(株)覚堂	6.10.10 ~ 7.4.16	100,947,000	解体 格技場 鉄骨造 地上1階建 809.72 m ² その他 プール管理棟、自転車置場等 23 棟 新築 倉庫	済	令達年月日 6.8.26 7.1.27 最終支払年月日 7.5.16
一般	中建・林工特定建設工事共同企業体	7.3.28 ~ 9.1.20	前金払い 396,000,000	校舎棟 S増5階建て 8,234.07 m ² 渡り廊下 S造平屋 37.80 m ²	予	令達年月日 7.4.1 最終支払年月日 7.4.30
			562,804,000			

建 築 工

令和7年度 該当なし

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契約金額		
					当初額	変更増減額	計
参考	教育管理費	令和6年度[第36-Z1539-01号]浜松南高等学校格技場解体他工事	浜松市中央区米津町地内	円 85,866,000	円 81,950,000	円 18,997,000	円 100,947,000
参考	教育管理費	令和6年度[第36-Z1514-01号]浜松南高等学校校舎棟新築工事	浜松市中央区米津町地内	3,342,900,000	3,300,000,000	0	3,300,000,000
		合計	2 件	3,428,766,000	3,381,950,000	18,997,000	3,400,947,000

事 調

(令和7年度)
(令和7年7月31日現在)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
一般	(株)覚堂	6.10.10 ~ 7.4.16	100,947,000	解体 格技場 鉄骨造 地上1階建 809.72 m ² その他 プール管理棟、自転車置場等 23 棟 新築 倉庫	済	令達年月日 6.8.26 7.1.27 最終支払年月日 7.5.16
一般	中建・林工 特定建設工 事共同企業 体	7.3.28 ~ 9.1.20	前金払い 396,000,000	校舎棟 S増5階建て 8,234.07 m ² 渡り廊下 S造平屋 37.80 m ²	予	令達年月日 7.4.1 最終支払年月日 7.4.30
			496,947,000			

公 有 財 産 調

(令和 6 年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格 千円	数量又は面積	台帳価格 千円	数量又は面積	台帳価格 千円	数量又は面積	台帳価格 千円	
行政財産		1,123,840		0		7,593		1,116,247	
土地	42,290.98 m ²	1,093,463					42,290.98 m ²	1,093,463	
立木竹	51 本	584					51 本	584	
建物	7,573.15 m ² 13,472.00 m ²	18,842			1,170.90 m ² 1,170.90 m ²	4,350	6,402.25 m ² 12,301.10 m ²	14,492	
工作物	66 個	10,951				3,243	66 個	7,708	
普通財産		75,479		614		4,476		71,617	
建物	286.43 m ² 725.19 m ²	75,479	1,170.90 m ² 1,170.90 m ²	614		4,476	1,457.33 m ² 1,896.09 m ²	71,617	
工作物	1 個	0					1 個	0	
公有財産に準ずるもの		400						400	
電話加入権	5 件	400					5 件	400	

(令和 7 年度)
(令和 7 年 7 月 31 日 現在)

区分	令和7年3月31日現在		増		減		令和7年7月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格 千円	数量又は面積	台帳価格 千円	数量又は面積	台帳価格 千円	数量又は面積	台帳価格 千円	
行政財産		1,116,247				257		1,115,990	
土地	42,290.98 m ²	1,093,463					42,290.98 m ²	1,093,463	
立木竹	51 本	584			12 本	155	39 本	429	
建物	6,402.25 m ² 12,301.10 m ²	14,492			27.70 m ² 27.70 m ²	102	6,374.55 m ² 12,273.40 m ²	14,390	
工作物	66 個	7,708			11 個		55 個	7,708	
普通財産		71,617				557		71,060	
建物	1,457.33 m ² 1,896.09 m ²	71,617			1,170.90 m ² 1,170.90 m ²	557	286.43 m ² 725.19 m ²	71,060	
工作物	1 個	0					1 個	0	
公有財産に準ずるもの		400						400	
電話加入権	5 件	400					5 件	400	

借地借家等調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	住宅建	浜松市中央区米津町922		鉄筋コンクリート造 3階建	m ² 417.58 1,065.96	円	円	R7.4.1 ~R8.3.31	浜松南高等学校生活館管理委員会委員長	生活館
2	建物	倉庫建	浜松市中央区米津町961		重量鉄骨造 2階建	m ² 97.16 179.74	-	無償	R7.4.1 ~R8.3.31	浜松南高等学校PTA会長	部室及びトレーニング室
3	土地	宅地	浜松市中央区遠州浜3丁目3-1	宅地	職員住宅敷地	m ² 1,146.86	-	無償	R6.4.1 ~R9.3.31	浜松江之島高等学校校長	職員住宅敷地
4	工作物	舗床	浜松市中央区米津町922		アスファルト舗装	1個	-	無償	R7.4.1 ~R8.3.31	浜松南高等学校生活館管理委員会委員長	職員駐車場
5	工作物	水路	浜松市中央区米津町961		コンクリートU字溝	99.20m ²	-	無償	H12.11.16~ 施設存続期間	浜松市西南部土地改良区理事 長	生徒通学用道路・自転車置場スロープ設置他
6	工作物	冷暖房装置	浜松市中央区米津町961		普通教室空調設備	1個	-	711,131	R3.7.1 ~R16.6.30	三井住友ファイナンス&リース(株)	空調設備設置
7	工作物	照明装置	浜松市中央区米津町922		LED照明設備	1式	-	無償	R7.4.1 ~R8.3.31	静岡県立浜松南高等学校後援会	ハンドボール・テニスコート用LED照明設置
8	工作物	冷暖房装置	浜松市中央区米津町961		特別教室空調設備	1個	-	4,878,814	R6.7.1 ~R19.6.30	NTT・TCLリース株式会社静岡支店	特別教室空調
	計							5,589,945			

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用許可 を受けた者の氏名	貸付・使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町961	学校 用地	学校 敷地	m ² 121.43	-	免除	7.4.1~ 12.3.31	静岡県立浜松南高等 学校PTA会長	部室等敷地
2	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町922	学校 用地	学校 敷地	m ² 1,177.58	-	免除	7.4.1~ 12.3.31	静岡県立浜松南高等 学校生活館管理委員 会委員長	生活館敷地
3	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町961	学校 用地	学校 敷地	m ² 215.45	-	免除	3.4.1~ 8.3.31	浜松市長	公衆道路
4	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町961	学校 用地	学校 敷地	本 10	1,500	15,000	6.4.1~ 9.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	公衆電気通信線 路施設
5	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町962	学校 用地	学校 敷地	本 1	1,500	1,500	4.4.1~ 9.3.31	浜松ケーブルテレビ (株)	電気通信線路設 備
6	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町961	学校 用地	学校 敷地	m ² 11.12	-	免除	7.4.1~ 9.3.31	静岡県立浜松南高等 学校PTA会長	記念碑設置
7	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町961	学校 用地	学校 敷地	m ² 0.1	-	免除	3.4.1~ 8.3.31	遠州鉄道(株)	バス停留所看板
8	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町961	学校 用地	学校 敷地	m ² 22.42	-	免除	6.4.1~ 9.3.31	静岡県立浜松南高等 学校PTA会長	購買室設置
9	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町961	学校 用地	学校 敷地	m ² 35.04	-	免除	7.4.1~ 9.3.31	静岡県立浜松南高等 学校PTA会長	敷石設置
10	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町961	学校 用地	学校 敷地	m ² 22.49	-	免除	7.4.1~ 9.3.31	静岡県立浜松南高等 学校後援会長	敷石設置
11	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町961	学校 用地	学校 敷地	m ² 260.60	-	免除	3.4.1~ 8.3.31	浜松市長	公衆道路
12	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町961	学校 用地	学校 敷地	m ² 3.13	-	免除	7.4.1~ 9.3.31	静岡県立浜松南高等 学校PTA会長	ベンチ設置
13	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町961	学校 用地	学校 敷地	m ² 1.00	-	無償	7.4.1~ 9.3.31	静岡県くらし・環境 部環境局長	埋設標石設置
14	建物	事務所建	浜松市中央区 米津町961	重量鉄骨 1 階建		m ² 3.00	-	2,740	7.4.1~ 9.3.31	静岡県立浜松南高等 学校PTA会長	自動販売機設置
15	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町961	学校 用地	学校 敷地	m ² 2.87	-	免除	7.4.1~ 12.3.31	静岡県立浜松南高等 学校後援会長	サッカー得点板 設置
16	建物	事務所建	浜松市中央区 米津町961	鉄筋コンク リート4階建		m ² 3.30	-	免除	7.4.1~ 9.3.31	静岡県立浜松南高等 学校PTA会長	外郭団体事務職 員執務場所
17	建物	事務所建	浜松市中央区 米津町961	鉄筋コンク リート4階建		m ² 3.30	-	免除	7.4.1~ 9.3.31	静岡県立浜松南高等 学校PTA会長	外郭団体事務職 員執務場所
18	土地	学校敷地	浜松市中央区 米津町961	学校 用地	学校 敷地	m ² 10.00	-	免除	7.4.1~ 9.3.31	静岡県立浜松南高等 学校PTA会長	外郭団体事務職 員駐車場
19	建物	事務所建	浜松市中央区 米津町961	重量鉄骨 1 階建		m ² 2.00	-	641,784	5.4.1~ 8.3.31	サントリービバレッ ジソリューション(株)	自動販売機設置
合計								661,024			

職員公舎管理状況調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	所在地	建築年月	構造	管理戸(室)数(A)	入居戸(室)数(B)	Bの内他事務所職員入居戸(室)数	空室戸(室)数(A - B)	摘要
1	浜松市中央区遠州浜3丁目3-1	H6.11	R C 3 F 1棟	12	1	0	11	空室戸数 22.4.1より 1戸 23.4.1より 1戸 24.9.1より 1戸 26.3.1より 1戸 26.4.1より 1戸 27.4.1より 1戸 29.4.1より 1戸 元.7.1より 1戸 2.4.1より 1戸 3.3.12より 1戸 6.5.1より 1戸
	計			12	1	0	11	

主 要 備 品 調

(令和7年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	2-1	パーソナルコンピュータ(一式)	県立学校ICT環境整備機器一式	週5日(年間40週) 情報の授業等に使用	令和元年8月	5,691,384
2	10-6	教育調理器具	調理台一式 教師用1台・生徒用8台	週3日(年間40週) 調理実習の授業に使用	平成9年3月	5,433,250
3	6-99	その他の諸機器	ドラフトチャンバー ダルトン DFV 12AK 15CFT	週1日(年間40週) 化学の実習に使用	平成25年3月	2,257,500
4	1-2	台	生徒用実験台 ニット-FBC-300G	週3日(年間40週) 生物の実習に使用	平成10年3月	2,053,800
5	10-7	鍵盤楽器	ヤマハグランドピアノ 椅子付 C-5E	週2日(年間40週) 音楽の授業に使用	平成4年11月	1,775,308
6	10-12	トレーニング用器具	レッグカール&エクステンション マシン セノ-BA2113	週6日(年間45週) 部活動のトレーニングに使用	平成元年11月	1,107,250
7	1-4	書類収納庫	オフィスユニット オカムラ42型	毎日(年間365日) 書類の保管に使用	平成3年2月	980,000
8	10-12	トレーニング用器具	バタフライ&ローイングマシン セノ-BA2413	週6日(年間45週) 部活動のトレーニングに使用	平成元年11月	952,750
9	10-12	陸上競技用器具	ハンマー投げ囲いサイドネット RT-T110501	週3日(年間45週) 陸上部の部活動で使用	平成23年3月	942,900
10	10-7	鍵盤楽器	グランドピアノ カワイGS-30	週2日(年間40週) 音楽の授業に使用	昭和56年12月	772,000
11	2-2	放送装置	放送装置 パナソニック WL-SA133	週5日(年間52週) 校内放送に使用	平成23年3月	621,600
12	3-3	投影機用器具	スマートボード 東芝58インチ 東芝	週1日(年間40週) 情報の授業に使用	平成9年3月	597,400
13	10-12	バスケット用器具	バスケットボールゴール イノコBS-20	週6日(年間45週) 体育の授業・部活動で使用	平成14年3月	591,150
14	1-7	シュレッダー	シュレッダー UD-F55S-L	週5日(年間52週) 機密文書裁断に使用	令和6年8月	589,600
15	2-1	その他の情報処理機器	一体型電子黒板StarBoard 日立ソフト PX-DU0-50	週2日(年間40日) 英語等の授業に使用	平成22年3月	552,993
16	2-1	その他の情報処理機器	校内LANサーバ等一式 NECサーバー式・無停電電源装置	毎日(年間365日) 情報資産管理に使用	平成29年3月	529,308
17	10-7	打楽器	コンサートビブラフォン ヤマハ YV-3710JM	週6日(年間45週) 音楽の授業・部活動で使用	平成23年2月	514,500
18	1-5	その他の印刷機器	丁合機 リソー TC7100	週5日(年間45週) 授業教材等の生徒配布物の整理に使用	令和元年12月	484,000
19	1-4	下駄箱	教職員用下足入れ メラミン及びポリ化粧	毎日(年間365日) 教職員の足入れに使用	平成10年3月	480,900
20	1-2	台	教師用実験台 ニットー KBB-360G	週3日(年間40週) 理数科の実習に使用	平成15年3月	479,850

職 員 調

(令和7年7月31日現在)

整理番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数 年・月	摘 要
1	校 長	鈴 木 学			.	
2	副校長	向 井 愛 子			.	
3	教 頭	山 崎 修 司	数 学		.	
4	事務長	中 村 光 子	事 務 総 括		.	
5	教 諭	鈴 木 洋 子	外 国 語		.	
6	"	藤 田 徹	地 歴 ・ 公 民		.	
7	"	政 本 昇 邦	地 歴 ・ 公 民		.	
8	"	杉 本 昌 之	保 健 体 育		.	
10	"	柳 本 宗 春	国 語		.	
11	"	西 脇 洋	外 国 語		.	
12	"	勝 田 守 一	地 歴 ・ 公 民		.	
9	"	西 尾 哲 也	地 歴 ・ 公 民		.	
13	"	後 藤 健 吾	数 学		.	
14	"	鈴 木 浩 一	数 学		.	
15	"	児 玉 理 江	理 科		.	
16	"	堀 尾 亮 子	外 国 語		.	
17	"	加 藤 喜 彦	外 国 語		.	
18	"	石 塚 財 弘	国 語		.	
19	"	山 本 彰	地 歴 ・ 公 民		.	
20	"	川 村 仁 美	国 語		.	
21	"	稲 垣 嘉 彦	国 語		.	
22	"	鈴 木 香 織	外 国 語		.	
23	"	小 粥 俊 輔	数 学		.	
24	"	伊 藤 智 美	数 学		.	
25	"	俵 山 直 樹	地 歴 ・ 公 民		.	
26	"	平 口 真 由 美	数 学		.	
27	"	仲 村 文 秀	国 語		.	
28	"	松 島 由 佳 子	家 庭		.	
29	"	山 中 智 則	数 学		.	
30	"	東 亮 一	理 科		.	
31	"	頼 母 木 勇 太	保 健 体 育		.	
32	"	栗 田 基 秀	保 健 体 育		.	
33	"	藤 崎 德 大	外 国 語		.	
34	"	中 島 徹 人	数 学		.	
35	"	杉 本 貴 央	保 健 体 育		.	
36	"	佐 原 江 利 菜	数 学		.	
37	"	清 水 さ や	理 科		.	
38	"	櫻 井 拓 実	理 科		.	
39	"	岡 倉 佑 樹	外 国 語		.	
40	"	天 野 祥 希	保 健 体 育		.	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数 年・月	摘要
41	"	古川 慶	外国語		.	
42	"	山下 翼	理科		.	
43	"	田中 直人	数学		.	
44	"	細野 泰史	地歴・公民		.	
45	"	直井 夏琳	国語		.	
46	"	池谷 拓真	理科		.	
47	"	石川 結衣	理科		.	
48	"	打桐 大雅	情報		.	
49	"	杉田 樹紀	理科		.	
50	"	田中 梨華子	国語		.	
51	"	藤井 琢満	外国語		.	
52	"	吉川 竜太	保健体育		.	
53	"	神谷 花	外国語		.	
54	"	藤村 明弘	国語		.	
55	"	名倉 太	国語		.	
56	"	加藤 久仁寿	地歴・公民		.	
57	"	梶山 信宏	数学		.	
58	"	田中 洋	理科		.	
59	"	西川 昌宏	数学		.	
60	養護教諭	春日 真悠子	養護		.	
61	"	宮臺 優	養護		.	
62	主任実習助手	本間 美子	理科		.	
63	主査	伊藤 久美子	庶務・会計		.	
64	"	水野 業秀	管財・会計		.	
65	主任	川越 翼	庶務・会計		.	
66	主事	鈴木 潤吉	庶務・会計		.	
平均年数					年 月	

臨時職員・会計年度任用職員

(令和7年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数 年・月	摘要
1	非常勤講師	森田和行	情報		.	
2	"	鈴木文喜	地歴・公民		.	
3	"	太田佳純	地歴・公民		.	
4	"	下石哲幸	書道		.	
5	"	堀内信人	外国語		.	
6	"	笹瀬正樹	保健体育		.	
7	"	鷹野美恵子	音楽		.	
8	"	詫摩恵子	家庭		.	
9	"	二村紗也佳	美術		.	
10	部活動指導員	笹瀬正樹	陸上競技		.	
11	"	仲村征則	男子バスケ		.	
12	"	藤田雄樹	サッカー		.	
13	非常勤労務職員	村越豊	用務		.	
14	"	松原芳明	用務		.	
15	"	福島進	用務		.	
16	非常勤嘱託員	牧野佑美	就学支援金		.	
17	健康管理医	栗山章子	内科		.	
18	学校医	栗山章子	内科		.	
19	"	岡本貴鮮	眼科		.	
20	"	宇佐神篤	耳鼻科		.	
21	学校歯科医	渡辺哲也	歯科		.	
22	学校薬剤師	鈴木謙市	薬剤師		.	

職 員 の 年 齢 調

(令和7年7月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	12	
30歳以上40歳未満	12	
40歳以上50歳未満	12	
50歳以上56歳未満	11	
56歳以上61歳未満	12	
61歳以上	7	
計	66	平均年齢 45.6 歳

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 70人
	職員数 70人
受 診 率	100.0%
県平均受診率	100.0%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	1(1)人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行っても症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	1(1)人
C 2		要経過観察	人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	9(9)人
D 2		要経過観察	13(13)人
D 3		医 療 不 要	40(40)人
区 分 者 計			64(64)人
未区分者数			2人
合 計			66人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由